

武蔵野大学 2023年度 出張授業 テーマ一覧

学科	No	教員名	授業テーマ	授業概要	授業形式	高校でご利用 いただきたいもの
ウェルビーイング	1	浦谷 裕樹	ウェルビーイングって何？ - わたしと世界を幸せにするために、今日からできる3つのこと -	ウェルビーイングの解説ならびに、ウェルビーイング研究（幸福学）から現在わかっていることを伝え、今日から簡単に取り組める3つのことを実践ワークを交えながら学びます。	講義	プロジェクタ、スクリーン、レジュメ（印刷物）
	2	浦谷 裕樹	ウェルビーイング入門 - あなたの幸せはどんなカタチ？ 幸せの4因子からひも解く「幸せ力の伸ばし方」 -	ウェルビーイングの解説の後に、一人ひとりの「幸せのカタチ」がわかる簡単な心理テストを行います。その指標として用いられる「幸せの4因子」をひも解き、幸福度を上げるための方法を学びます。	講義	プロジェクタ、スクリーン、レジュメ（印刷物）
	3	吉野 優香	ありがとうから始まるwell-beingを考える	円滑な関係の中には、ありがとうの言葉や気持ちが存在します。ありがとうが私たちのwell-beingにどのように関わるのか説明し、応用可能性について考えます。	講義	プロジェクタ、スクリーン
サステナビリティ	4	明石 修	人と自然がともに豊かになる未来を目指して ～パーマカルチャーの挑戦～	人が自然や他の生き物をまもり、再生しながら、必要なもの（食料や水、エネルギーなど）を得て、精神的にも豊かな暮らしをする、つまりサステナブルでありウェルビーイングな暮らしや社会の実現をめざす「パーマカルチャー」について紹介します。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	5	伊尾木 慶子	森林や緑地と人々の関わりを考える	森林と人間の関わりは時代とともに変化してきました。都市の緑地から熱帯林まで、様々な森林と人々の関係について述べ、生物多様性などの視点からそれらの保全や管理について議論します。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	6	磯部 孝行	住宅のカーボンニュートラルと資源循環	建築分野では多くの資源を用い建設され、利用時はエネルギーを大量に消費しています。そのため、建築分野では環境負荷を極小化するためにカーボンニュートラルに向けた取り組み、廃棄物量を減らす取り組みが行われています。その内容を、担当教員が係の実事例・研究を中心に紹介します。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	7	門多 真理子	食品廃棄物のエネルギーリサイクル	都市で大量に発生する食品廃棄物は化学エネルギーを多く持つ資源と捉えることができます。そのリサイクル品であるバイオガスは都市で需要があります。このリサイクルプロセスであるメタン発酵を紹介します。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	8	白井 信雄	サステナブル（持続可能）な地域づくりの理想を考える	サステナブルな（持続可能な）地域づくりとは、どのような理想を目指すことなのでしょうか。それを目指すことで、これまでの地域社会の何を、どうやって変えていくのでしょうか。持続可能な地域づくりの考え方を理解し、エコビレッジからSDGs未来都市、スマートシティまで、様々な理想を姿を学びます。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	9	白井信雄	SDGs（持続可能な開発目標）の基礎と学び、少し深く考える	SDGsの基礎を学んだうえで、SDGsを少し深く考えるワークショップを行います。ワークショップでは、ゴール間のトレードオフの解消とシナジーのは発揮を考えます。トレードオフとは、例えば気候変動防止のための再生可能エネルギーの導入が自然環境を壊すというようなこと、シナジーとは地域住民が地域のために再生可能エネルギーを導入することで地域を活性化させるというようなことです。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	10	白井 信雄	ゼロカーボン時代の生き方と仕事	気候変動によって異常気象という非日常が日常化しており、2050年におけるゼロカーボン（二酸化炭素排出ゼロ）の達成が目標となっています。ゼロカーボン社会とはどんな社会なのか、それに向けて私たちはどのような生き方をしていくのか、どのような仕事を選択していくのか。魅力的な社会に向けた生き方と仕事を考えます。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	11	白鳥 和彦	「エコーベル」を知ろう	身近にある「エコーベル」はどのようなものか。どのように作られ、表示されているのか。それを使うことによりどのようにして環境に役立つのか等を学ぶとともに、環境問題の解決につなげようとする企業活動や環境学について紹介します。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	12	鈴木 菜央	ほしい未来は、つくろう！社会課題を解決して価値をつくりだすソーシャルデザインとは	社会の問題は、楽しく解決できる。「なんで〇〇は××なんだろう？」という疑問や、「こうなったらいいのに」という思いを出発点に、自分がほしい社会を目の前に作っていき考える「ソーシャルデザイン」を豊富な事例とともにわかりやすく解説します。必要に応じてソーシャルデザインの種である「マイ・プロジェクト」を考えてみる簡単なワークショップなども行えます。	講義	プロジェクタ、スクリーン

学科	No	教員名	授業テーマ	授業概要	授業形式	高校でご利用 いただきたいもの
	13	高橋 和枝	資源循環を日常生活から考える	健全な資源循環のために、われわれにできることを日常生活から考えます。電子機器に使用されているレアメタルや大量消費・廃棄されているプラスチック等、できるだけ実物を見ながら考える授業をします。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	14	真名垣 聡	世界の海のプラスチックごみを減らすことはできるか？	世界の海を漂う海洋プラスチックは約5兆個あるとの報告もあり、生態系への影響が懸念されています。この講義では海ごみ削減の対策に役立てるための研究活動である、最新の小型ごみ回収装置を用いた分析結果（内訳や種類）や大学での活動を紹介します。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	15	真名垣 聡	リスクのものさしで環境にやさしいを測る	主に「環境リスク」についてわかりやすく説明します。毒物として知られるダイオキシンと食事に使われる塩ってどっちが危険なの？という問いをリスクから説明します。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	16	三坂 育正	暑さに強いまちをつくる！	気候変動やヒートアイランド現象の影響で、夏季における暑熱環境が問題となっています。暑さに負けず、安全・安心、快適に暮らすことができるまちとは、どんな工夫が必要で、どのように作っていくべきか、説明します。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	17	村松 陸雄	「心理学」×「環境学」で持続可能な未来をつくる	人間の心理やコミュニケーションを応用した人間行動デザインを用いた持続可能な未来のつくり方を考えます。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	18	木下 修一	世の中のつながりを科学する	人間関係を表すSNSから、企業間のお金のやり取り、細胞内の代謝システムまで、ネットワークとして表現できる現象は多々あります。本講義では、簡単な実例と数学を使ってネットワーク科学の魅力を学びます。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	19	松家 敬介	漸化式による数理モデル入門	様々な現象を数学の言葉で表したものを数理モデルと呼び、この数理モデルを調べることで現象の理解につながられます。本講義では、漸化式による数理モデルの実例をいくつか紹介しながら数学の応用について学びます。	講義	
	20	坪井 俊	対称性の数学	対称性をもつものは人目を引くような気がします。対称性をもつものを眺めると、しばしば三角定規の形が隠れていることがわかります。数学者はこのような対称性を扱うために「群」を考え出しました。多くの数学者が様々な群を研究しています。この流れを踏まえ、対称性を見つけていただくところから、対称性というものの持つ法則性の発見へつながるところを紹介いたします。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	21	上山 大信	GPSの数理	日常生活において、なくてはならないGPS。スマホのマップアプリは毎日活用するアプリの一つですが、なぜ自分の位置が正確にわかるのか、不思議に思いませんか？その原理は簡単な数学で理解できます。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	22	高石 武史	数理モデル入門	人口増加、噂の伝播など、身近な話題を数理モデルで考えます。数列や微分の考え方を使い、いろいろな現象をどのように数式で解いていけるかを学びます。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	23	阿部 修治	カルノー機関	熱力学の発展に大きく貢献した19世紀フランスの技師サディ・カルノーの理論（カルノーの定理）の功績と意義について解説する。（『物理』履修者対象）	講義	プロジェクタ、スクリーン
	24	西川 哲夫	データサイエンスによって、世の中の様々な問題を解決する	近年、実験技術、インターネット、計算機の進歩により、あらゆる分野で莫大な量のデータが生み出されています。このデータを活用して問題解決を図る「データサイエンス」のインパクトについて具体的に学びます。	講義	プロジェクタ、スクリーン
数理工	25	佐々木 多希子	公式のない方程式を解くには？	微分を用いて現象を方程式にし、その方程式の解を調べることで、現象についての本質的な理解や有益な予見を得ることが出来ます。ところが、微分を使った方程式の解を具体的に求めることが常に可能であるとは限りません。解が存在しないため、解を求められないということではありません。よく知られている関数を使って、解を表現する公式が無い、ということです。この問題の解決策を考えます。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	26	櫻井 建成	身近にあるリズムの科学	バネの振動、音の発生、月の満ち欠け、橋の揺れ、心臓の鼓動など時間的に変化する現象（リズム）が私たちの身近に溢れかえっています。それらリズムの特徴を抜き出し、高校での学習内容と対応させながら、理解することの楽しさを学びます。 どの分野（物理学、数学、化学、生物学もしくは理科一般や文系の生徒など）の視点からの講義が良いかお知らせください。	講義	プロジェクタ、スクリーン

学科	No	教員名	授業テーマ	授業概要	授業形式	高校でご利用 いただきたいもの
	27	櫻井 建成	身近にあるリズムやかたちの科学	心臓の鼓動など、リズムを刻むように時間変化する現象があります。私たちは、“リズム”の発生とそれを基にした“かたち（パターン）”の形成（秩序形成）に興味を持ち研究を行っています。秩序形成を自然現象や生命現象と関連づけながら紹介します。 どの分野（物理学、数学、化学、生物学もしくは理科一般や文系の生徒など）の視点からの講義が良いかお知らせください。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	28	櫻井 建成	振動する化学反応	Belousov-Zhabotinsky(BZ)反応と呼ばれる化学振動反応の実験を行います。この化学反応は色が周期的に変化したり、自発的なパターンの形成が見られたりするため、高校での研究テーマとしても取り上げられることがあります。ここでは、高校ではあまり行われていない光照射によるパターンの制御やBZ反応を用いた画像処理、生化学や生体信号処理との関係などを実験を通して考えます。	演習	理科実験室の使用（試薬などは本学が準備）
	29	櫻井 建成	ジェネラティブアートと数学	数学的なシステムに従って生み出される芸術作品をジェネラティブアートと呼びます。基礎編では、コンピュータの中でアートを描く手法を学びます。応用編では、数学的システムが生み出すアート（秩序）に無秩序の要素を加えた場合の自然科学的な面白さへと繋げる例を考えます。	演習	PC
	30	時弘 哲治	パラドックスと数理	「アキレスと亀」や「嘘つきのクレタ人」などのパラドックスは、高校から大学への数学、数理学の橋渡しとなる面白い題材です。こうしたパラドックスを考察することで、無限を取り扱う数学や、生命の本質を明らかにする数理が生まれたことをお話ししたいと思います。	講義	
建築デザイン	31	金 政秀	環境と形	自然、伝統的民家、現代建築における環境に適応した機能とその形態について講義を行います。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC
	32	宮下 貴裕	自分たちの街の環境について考える	学生達が普段生活している街や空間がどのように成り立っているのかを一緒に考えます。環境に注目するアプローチを紹介するとともに、グループワークで地図に書き込みを行いながら、学生達に身の回りの環境の魅力や課題を見つけ出してもらいます。	演習	プロジェクター、スクリーン、学校周辺の地図（A3用紙1〜2枚に印刷）
	33	伊藤 泰彦	こどもと建築 -学びの場とまちづくり-	衣食住の3要素のうち、学校におけるこどもの住教育は取り組みが少ないと言われています。教員が直接関わる地域活動を題材に、こどもと地域の学びを紹介し、モノだけではなくコト・ヒトの建築的デザインについて考えます。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC
	34	伊村 則子	まちを防災視点で観る	普段生活するまちを、防災の視点で観察し、どのようなまちの要素が災害時に役立つのか、危険要素になるのか、平時に改善できるのか、教員が関係する地域連携活動を題材に考えます。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC
	35	田中 正史	建築と技術	我々が生活する社会では、どのような技術が活用されているのか。建築物における工学原理の事例を紹介するとともに、安全について授業を行います。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC
	36	佐藤 桂	地球規模で考える建築の役割	人間の歴史とともに建築の歴史があることを改めて地球規模で考えることで、これからの建築のあり方について一緒に議論します。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC
	37	太田 裕通	居住のデザインへのアプローチ	建築・都市・地域の自己組織化を育み、持続的な住環境を目指す居住のデザインについて、身近な周辺環境から、国内外の事例を通して、一緒に考える機会とします。その上で空間を扱える建築学の強みも語ります。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC
	38	水谷 俊博	建築をデザインすることを考える	建築のデザインに関して実例を挙げながら説明するとともに、大学でおこなう建築の設計に関する取り組みを紹介します。また、実際にグループワークにより簡単なデザイン（設計）を手を動かしながら体験してもらいます（実施は人数により検討）。	講義（+演習）	プロジェクター、スクリーン、普通紙（A3かA4人数分） 【生徒】鉛筆などの絵をかける筆記用具
	39	風袋 宏幸	建築のエレメント	建築は壁、窓、屋根など多くのエレメントが組み合わせられてきています。この授業では、特定のエレメントに注目して観察することから、建築デザインの考え方を探ります。	講義	プロジェクター、スクリーン
	40	岩城 賢太郎	教科書に見える日本の古典文学・古典芸能について、もう一步、探求してみよう	国語科・音楽科・社会科（歴史）の教科書等に見える日本の古典文学の作品、また古典芸能の紹介等をもとに、大学授業における原典本文の更なる分析や考察の入門編となる解説や講義を行います。そしてアニメーション、テレビドラマ、映画、漫画、ゲーム等への展開や影響等を受講者の皆さんと追跡してみたいと思います。 授業で扱う作品やジャンルについて要望等があれば御相談下さい。要望があればグループワークやディスカッション形式を交えます。	講義	プロジェクターやスクリーン、大型ディスプレイ等、映像・画像資料を少し大きく映写できる機器
	41	藤本 恵	変化する昔話―巖谷小波「小雪姫」を読む―	まず、明治時代に、日本の子ども読者に提供された昔話を紹介します。名前のとおり、昔から変わらないお話と考えられがちな「昔話」は、社会や文化のありようを反映して変化してきました。その事実をとおして、児童文学と社会の関係を考えていきます。	講義	

学科	No	教員名	授業テーマ	授業概要	授業形式	高校でご利用 いただきたいもの
日本文学文化	42	三浦 一朗	芭蕉「古池や蛙飛びこむ水の音」 一有名な作品を改めて読み直してみよう	この授業では、芭蕉の有名な「古池や」の句を取り上げます。作品を表現に即して読み解くことを通じて作品から何が見えてくるのか、また、そのように作品を読むという行為が私たちにどのような意味を持つのかということについて一緒に考えてみたいと思います。	講義	プロジェクター、スクリーン、あるいはPCを接続できる大型のディスプレイ
	43	三浦裕子	狂言の魅力—伝統芸能の世界に触れよう	能と狂言は室町時代に基礎を築いた演劇です。能が『源氏物語』などを原作に持つ歌舞劇・仮面劇であるのに対して、狂言は庶民のささやかな日常を描く喜劇です。（樂）という作品を例に、狂言の世界を深く考えていきます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	44	掛野 剛史	名作ができるまで——〈文豪〉の舞台裏をのぞく	夏目漱石「坊ちゃん」、芥川龍之介「蜘蛛の糸」など、よく知られたおなじみの名作が生まれるプロセスを、作家が残した自筆原稿を見ることで迎えます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	45	室田 知香	『源氏物語』の和歌の解釈	平安時代の物語『源氏物語』から、解釈の分かれている和歌を含む場面をとりあげ、その解釈について考えます。受講に際しては古文を読むことができる力がある程度必要です。	講義	
	46	三好 伸芳	日本語を話せるのに「文法」を学ぶ理由	一般に「文法」は「正解のルールを覚えるもの」と思われているかもしれませんが、しかし、現代語の文法でも分からないことがたくさんあります。この授業では、「正解のない文法」という観点で日本語に迫っていきます。	講義	
	47	大島 武宙	歌を贈りあうこと—『万葉集』の恋	現存最古の歌集『万葉集』の贈答歌について、誰がどんな場面で作った歌なのか、それぞれの言葉がどんな意味で用いられているのかを参照したうえで、歌を贈り、それに答えることが、単なる言葉の情報伝達にとどまらない意味を持っていたことを考えます。	講義	
	48	堀切 克洋	歳時記は季節をどう捉えているか	季節をまとめた本のことを「歳時記」と呼びます。一般に歳時記には季節とその解説などが掲載されていますが、そこには隠された意味のネットワークがいくつも隠されています。それを炙り出すことで、歳時記が四季をどのように捉えているのかを考えてみます。	講義	
	49	楊 昆鵬	漢文が好きになる	漢文を学ぶ意義がよく分からない、苦手意識や嫌いな気持ちを抱く生徒が多くいます。しかし日本語日本文化の根幹にある漢文は、この先の勉強において避けては通れません。秘訣ではありませんが、漢文が好きになる方法を提案したいと思います。	講義	
グローバル コミュニケーション	50	櫻井 千佳子	きっと英語が好きになる学習法	英語を学習するのは、入試のため？ 資格のため？ 英語学習を、自分とは異なる言語文化への扉を開けることだと捉えて、学習法を見直してみましょう。学部と大学院でアメリカに留学した講師が、現地での学びを紹介します。	講義+演習	プロジェクタ、スクリーン
	51	櫻田 怜佳	ことばを通して見る文化・社会	挨拶、感謝、依頼などの日常の言語行動は文化によって異なるということを知っていますか。実際のコミュニケーションの事例から、その言語文化で共有されていること、大切にされていることについて考えます。	講義+演習	プロジェクタ、スクリーン
	52	A. R. チョウ	ことばの接触と異文化交流を考える	日本語、英語及び中国語から外来語などの言語の接触の例を取り上げ、言語が互いに文化交流と共に影響し合い、新たな表現が生まれるのか、また、これは外国語学習及び異文化理解に何を示唆しているのかを考えます。	講義+演習	プロジェクタ、スクリーン
	53	山本 貴之	グローバル化と私たちの生活について考える	「グローバル化」という言葉は私たちの生きる社会に偏在していますが、それが何を意味するのか皆さんはどれくらい知っているでしょうか。この授業では、グローバル化という現象について、そしてそれが私たちの生活に与えている影響について考えていきます。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、できれば、インターネットが接続できる環境
	54	井上 亜紗	多文化共生の面白さを考える	移民が発信する文化を通して、最近注目されている「ケア」とマイノリティについて考えます。彼らが移住先で支援を必要としている反面、実は人助けを担っていることを確認しながら、多文化共生におけるマイノリティのパワーを発見していきます。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン
	55	金尾 悠香	「働く」を会社法から考える	会社法の役割・仕組みを学んだ上で、取締役・その法的責任を題材に、「働く」ということについて、参加者と一緒に考えます。（オンラインでのみ対応可）	講義	
	56	金 安妮	民法の不法行為制度について学ぼう	高校生の皆さんに、法律を学ぶことについての具体的なイメージを持っていただくために、民法の中でも、特に私たちの日常生活と密接に関連している「不法行為」という法制度についてお話したいと思います（オンラインでのみ対応可）。	講義	
	57	佐々木 通孝	ブランドを保護する法律（知的財産法）を学ぶ	ブランドを保護する法制度として知的財産法があります。みなさんが知っているブランド（お菓子の「KIT KAT」や「OLEO」、「ハイチュー」など）を題材にして、知的財産法を概説します。（対面・オンラインのいずれでも対応可能）	講義	プロジェクタ、スクリーン

学科	No	教員名	授業テーマ	授業概要	授業形式	高校でご利用 いただきたいもの
法律	58	佐俣紀仁	身近なニュースから国際法を考える	国際法は国際社会で使われるルールです。誰に、どのようなルールを、国際法は課しているのでしょうか。時事問題やニュースを素材に、国際法の仕組みや特徴について、受講生の皆さんと考え、議論します。(基本的にオンライン対応ですが、時期等によって対面実施も可能です)	講義	
	59	上代庸平	地方自治の現状と課題——街の未来をつくるために	地域の持続可能性を確保するための地方公共団体の政策形成及びその法的根拠付けの過程について、地方自治法及びまち・ひと・しごと創生法に基づく地方創生の諸施策及び地方公共団体における独自の取組み例を挙げて講義するとともに、自分たちが住んでいる街の現状に関する認識と、その課題について議論する(対面及びオンラインのいずれも対応可)。	講義	PC対応プロジェクタ、スクリーン
	60	鈴木 清貴	法学案内	通常の大学の講義と同じ内容・レベルで、民法の講義を実施します。興味深い事例を題材として民法の条文の解釈を行います。受講者と一緒に考える作業をして、充実した時間を共有したいと考えています。(対面・オンラインのいずれでも対応可)	講義	
	61	森下 幹夫	「超」少子高齢社会における税と社会保障—税はどのように負担するのが公平なのか?—	高校生の皆さんがこれから近未来で直面するのは、世界でもこれまで経験したことのない「超」少子高齢社会です。社会を維持するのに必要な財源(=税)を、現役世代と退職世代、そして将来世代とでどのように負担するのが「公平」なのか。この「正解のない問い」について、受講者と一緒に考えます。(対面・オンラインのいずれでも対応可)	演習	・PCプロジェクター、スクリーン ・グループワーク形式で実施する場合は、事前に生徒のグループ分けをお願いします。
政治	62	下條 慎一	個人と共同体	個人と共同体の関係はどのようにあるべきかという問題について、近世以降のヨーロッパ政治学史をたどりながら、現代日本の選択的夫婦別姓と生活保護制度を例に考察します。	講義	なし
	63	一條 義治	地方自治とジブリ美術館	今、自治体は厳しい財政状況から民間と連携した効果的な行政サービスの提供が求められています。そこで、民間との協働で実現した市立アニメーション美術館や株式会社が運営する市立保育園の設置などの「全国初の事例」から、これからの地方自治のあり方を考えます。	講義	PC、プロジェクタ、スクリーン
	64	渡辺恵子	高校生が取り組む地域課題の解決	所在地の自治体と連携し、「総合的な探究の時間」などを使って地域と協働した探究学習を行い、地域課題の解決につなげている高校生たちがいます。地域の課題を自分に身近なものと考え、解決方法を提案するにはどうしたらよいか、考えてみましょう。	講義	PC、プロジェクタ、スクリーン
	65	山崎 新	なぜ選挙で投票に行くのだろうか?	日本の選挙における投票率は傾向として低下しています。本講義では、「政治学」がこの点について、何を説明してきたのか、理論的・実証的な知見を紹介します。その上で、一緒に議論してみたいと思います。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	66	高橋 正樹	8人と38億人の資産が同じ	世界の富豪トップ8人の総資産と世界の所得の下から38億人の総資産が同じという極端な格差があります。世界の不平等の現実とその原因を歴史的に考えていきます。	講義	PC、プロジェクタ、スクリーン、世界地図
	67	杉野 綾子	アメリカの大統領はどれくらい偉いのか?	米国大統領が、国際社会で大きな影響力をもつことを、疑う人はいないでしょう。けれど米国大統領は、多くの制約に直面し、自分の政策の実現に苦戦する弱い存在でもあることを、日米の政治制度の違いを比較しながら理解します。	講義	PC、プロジェクタ、スクリーン
	68	後藤 新	「歴史」を学ぶということ	みなさんは「歴史」を暗記科目と思いませんか?たしかに人名や出来事覚えるのは大切ですが、実は違うのです。この授業では「琉球処分」を事例に大学における「歴史」の学び方について考えます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	経済	69	新倉博明	独占企業は何がいけないのか	経済学の大きなテーマである「競争」について、そのメリットとデメリットを独占企業と比較し、具体的な事例を紹介することで、理解していきます。	講義
70		新倉博明	GoogleやAmazonを経済学で読み解く	近年の時価総額ランキングにおいて上位5位以内を常に占めている、グーグルやアマゾンといった企業について、経済学はその戦略メカニズムを明らかにしてくれます。	講義	プロジェクタ、スクリーン
経営	71	宍戸 拓人	ビジネスと心理学 ～心の理解から始める経営学～	心理学をビジネスで正しく応用できている会社は、人や社会を幸せにすることができ、その対価として売上と利益を稼いでいます。本授業は、「心理学にもビジネスにも興味がある人」に最適な内容となっています。	演習	プロジェクタ・スクリーン
	72	宍戸 拓人	ビジネスとデータ分析 ～数学が苦手でもデータを価値へ変えられる～	世の中には、数学が得意ではないのに、データを価値に変えることで、会社と社会に大きく貢献している人々がいます。本授業は、「データ分析には興味があるけれど、数学が苦手な人」に最適な内容となっています。	演習	プロジェクタ・スクリーン
	73	宍戸 拓人	新しいリーダーシップのかたち ～全ての人材がリーダーシップを発揮する社会へ～	力強く人々を導いていくことを、唯一のリーダーシップのあり方だと考えているならば、それは正しくありません。本講義は、「自分のことをリーダーシップとは無縁だと感じている人」にこそ最適な内容となっています。	演習	プロジェクタ・スクリーン

学科	No	教員名	授業テーマ	授業概要	授業形式	高校でご利用 いただきたいもの
会計ガバナンス	74	池田安生	企業の財務的価値と社会的価値 - 財務分析+α -	企業は継続事業体として利益とキャッシュを創出し続けなければなりません。一方、企業に求められる社会的責任も重さを増しています。グローバル課題であるSDGsを指針とした企業の社会的価値の創出を、ビジネスの観点から議論しましょう。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	75	湯浅豊生	現代の所得税制の原型を探る	令和の時代ですが、租税制度は、その歴史をふりかえると思わぬルーツがあるものです。戦前からの歴史を振り返り、現在ある制度がどのような成り立ちであったかを探ります。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	76	星野雄介	経済学、経営学、そして会計学	経済・経営・会計はとても近い分野で、皆さんの多くは、どのように選べばいいか確信が持てていないのではないのでしょうか。この講義では、これら3分野の特徴を大胆に整理することで、皆さんの意思決定に役立てます。	講義	プロジェクタ、スクリーン
アントレプレナー シップ	77	伊藤 羊一	「やりたいことなんて、なくていい」 -自分がやりたいこと、目指す方向を知る-	主体的に人生を捉え、好奇心をもって生きていくには、自分自身を知り、自分の興味関心がどこにあるか知ることが必要です。自分の人生をグラフで表現し、グループで対話をしながら、自身の興味関心を探っていきます。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、A4用紙、ペン
	78	伊藤 羊一	「1分で話せ」 -大事なことだけシンプルに伝える技術-	人を動かすためには、考えて、伝える技術が大事です。明日から使える「極意」を、演習を交えながら身につけていきます。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、A4用紙、ペン
	79	荒木 博行、 伊藤 羊一、 津吹 達也、 寺田 知太 (いずれかが担当)	「世界一簡単な論理思考」 -主張と根拠のピラミッドを作ってみよう-	新しいビジネスアイデアを構想する前に、状況を分析したり、自分の考えを整理する論理思考が大事です。ここでは論理思考でベースとなる、「主張と根拠のピラミッド」を世界一やさしく身につける術を練習します。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、A4用紙、ペン
	80	伊藤 羊一、 海野 慧、 篠田 真貴子 (いずれかが担当)	「ちゃんと聞く」技術	チームでことを成すためには、メンバーを盛り上げることが大事です。そのためには、コミュニケーションをとること！「ちゃんと話を聞く」のはスキルです。これができれば人間関係は怖くないです！	講義+演習	プロジェクター、スクリーン
	81	五嶋 一人	会社が儲かる仕組みを考える	内外のスタートアップを中心に新しいビジネスモデルを2~3つ紹介、その後グループワークで新規事業を考えてもらい発表、講師が講評します。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、グループ数分のホワイトボード or 大きな紙、ペン
	82	伊藤 羊一	「全てのものがインターネットにつながったら何が起きる？」 -インターネットや社会や生活の未来を考える-	全てのモノはインターネットにつながっていきます。そうなると何が起きるのか、私たちの暮らしはどうなるのか。発想を飛ばせて、みんなでこれから来る未来を考えてみます。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、A4用紙、ペン
	83	平石 郁生	海外ビジネス最前線 グローバルアントレプレナーを知ろう！	失われた30年、日本社会と経済が停滞に陥るなか、なぜシリコンバレーに代表される海外からは途絶えること無くイノベーションが生まれるのか？日本がグローバル化していく必要性と解決策を探ります。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、A4用紙、ペン
	84	井上 浄	世界を変える研究者の挑戦 ~好奇心に従え！~	価値の中心が「もの」から「知や情報」に移行する現代では、自身の「好奇的思考」により異分野間の「新結合」を生み、社会に新たな価値を創ることが求められます。主に研究の魅力と「新結合」について考えます。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン ※ワーク希望の場合はA4用紙、筆記用具
	85	海野 慧	ソーシャルビジネス最前線 社会課題の解決とビジネスをどう両立させるのか？	SDGsという言葉と共に耳にする機会が増えたソーシャルビジネス。どんなビジネスがあるのか、社会課題の解決とビジネスは両立できるのか？今後我々はどう社会と向き合うのか？これらの問いに目を向けていきます。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、A4用紙、ペン
	86	五嶋 一人	スタートアップという「進路」	内外の有力起業家やスタートアップの紹介により、「起業」という生き方を知り、関心を持っていただきます。	講義	プロジェクター、スクリーン
87	五嶋 一人	株式から学ぶ資本市場	中高生にも馴染みがある上場企業の現状を2社~3社紹介し、資本市場への興味を持っていただきます。	講義	プロジェクター、スクリーン	
88	寺田 知太	実現したい未来シナリオの創り方	5年後、10年後にどんな世界になるかを自ら描いて、自分たちが実現したい未来シナリオを選び取る方法論を体験してもらいます。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、A4用紙、筆記用具、ポストイット	
	89	福沢 愛	社会・文化と心の関係	私たちの心は、誰と一緒にいるのか、どんな場所にいるのか、などの状況による影響を受けています。色々な具体例を示しながら講義し、日常生活での様々な出来事を社会心理学の観点から説明します。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	90	成澤 知美	トラウマを経験した人への心理的支援と対人援助におけるコミュニケーション	犯罪被害などによるトラウマ体験後の心理的な状態と求められる支援について知り、そのような状態に対して心理学を専門とする対人援助職がどのようにコミュニケーションをとり支援を提供するのかを学びます。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	91	佐々木洋平	感情について心理学で考える	感情は目に見えず触れることもできない体験ですが、生きていくのに役立つ大切な機能を持っていると言われていています。悲しみや不安などのつらい感情も実は私たちが暮らしていくうえで大事なものであること、感情との付き合い方を解説します。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	92	城月 健太郎	ストレスと心理学	普段の生活で感じるストレスの仕組みについて、心理学の考え方で詳しく説明します。さらに、ストレスを解消するにはどのような方法があるかを解説します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	93	中島 聡美	犯罪被害者の心のケア	現代社会では、実際には多くの犯罪が起こっています。被害にあうことによる心の傷を理解し、周囲がどのようにかわれるのかについて考えていきます。	講義	プロジェクター、スクリーン

学科	No	教員名	授業テーマ	授業概要	授業形式	高校でご利用 いただきたいもの	
人間科学	94	辻 恵介	撲殺との親和性から引きこもりの精神病理を考える	日本で起きる殺人事件では包丁による刺殺が一般的ですが、引きこもりの青年が人を殺す場合、父母などの同居家族を鈍器で撲殺することが少なくありません。犯行の口手を通して、引きこもりの病理を検討していきます。	講義	プロジェクター、スクリーン	
	95	北條 英勝	「現代は幸せな社会か」を考える	現代は幸せな社会だろうか。日本社会の状態を表す様々なデータを参照しながら、社会学の視点から考えます。	講義	プロジェクター、スクリーン	
	96	五島 直樹	ヒトとヒトの関わりあいを生命科学で考えてみよう！	ヒトから人間が形成されてゆく過程では、ヒトとヒトの関わり合いが大切です。ヒトの体の仕組みには、ヒトとヒトとがコミュニケーションをとる仕組みが備わっています。この仕組みを生命科学の立場から考えましょう。	講義	プロジェクター、スクリーン	
	97	日野 慧運	唯識学入門	5世紀インドの仏教に生まれた、唯識という学問は、無意識のうちに人の行動を左右する深層心理について説明するものでした。アジアの伝統的な心の捉え方の一つである唯識について、簡単に解説します。	講義		
	98	矢澤 美香子	人生100年時代のキャリア・デザインを考える	近い将来、人生100年時代を迎えるといわれています。授業では、どのように働き、学び、楽しみ、生きるかを考えながら、キャリア・デザインの視点から自律的キャリア形成についての理解を深めます。	講義	プロジェクター、スクリーン	
	99	泉 明宏	心と脳の不思議	ヒトは言語をはじめとして、他の動物には見られない高度な知的能力を持っています。ヒトの心と脳、そして複雑に発達した社会がどのように成立してきたのか、進化的適応の観点から解説します。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC	
	100	岩本 操	「精神保健福祉士」のしごと	「精神保健福祉士」は精神疾患やメンタルヘルスの課題を抱える方を支援するソーシャルワーカーの国家資格です。人々の心の健康増進に向けて人と社会の双方に働きかける精神保健福祉士の仕事の魅力を紹介します。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC	
	101	小嶋 知幸	言語聴覚士って知ってますか？	脳の病気の後遺症などで、ことばが不自由になった方々にリハビリテーションを行う専門職について解説します。	講義	プロジェクター、スクリーン	
	102	嶋田 真理子	言語聴覚士の仕事とは？	リハビリテーション専門職の一つで、国家資格である言語聴覚士は、ますます高齢化する社会において、活躍が求められている職種である。言語聴覚士の主な業務と対象者について解説する。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC	
	103	畠山 恵	認知症とは？	高齢化社会が進むにつれ増加している認知症について、代表的な症状と、コミュニケーション上の対応の工夫について説明します。	講義	プロジェクター、スクリーン	
	104	羽毛田 幸子	刑事司法とソーシャルワーク	犯罪をしてしまう人々の中には、高齢や障害などによる「生きづらさ」を抱えた人が少なくありません。このような人々に社会福祉の専門職（ソーシャルワーカー）がどう関わっているのか、裁判や刑務所の例を挙げてわかりやすく解説します。	講義	プロジェクタ、スクリーン、PC	
	105	出野 美那子	心理学からみる家族の健康	個人の健康と家族の健康とは、どのように関連しているのでしょうか？心理学の観点から、これからの家族のあり方を考えながら、家族の健康について解説します。	講義	プロジェクター、スクリーン	
	106	北 義子	聴覚障害を考える	聴覚障害は「目に見えない障害」と言われ、当事者にも理解しにくい障害である。このような方々にどのような支援が可能であるか、医学の進歩とともに聴覚活用の可能性は格段に高くなっている。また、手話なども徐々に広がりを見せてきている。聴覚障害とコミュニケーションについて考える。	講義	プロジェクタ、スクリーン	
	107	一ノ瀬 正樹	哲学倫理学の世界 - 日常に潜む謎 -	日頃自明だと思っている前提について、実は私たちは本当に分かっているとは言えないことを暴き出す。過去存在、法則の確実性、因果関係、道徳的善悪、人権、いのちの選別、死の有害性など、それらにまつわる謎を分かりやすく解説する。	講義	プロジェクタ、スクリーン	
	108	菊池 安希子	触法精神障がい者とリカバリー	精神病の影響のもとで重大な事件を起こしてしまった人たちのための専門病棟ではどのような治療が行われているのかを紹介し、触法精神障がいの社会復帰について考えます。	講義	プロジェクタ、スクリーン	
		109	室井正志	食品由来の発がん性物質	発がん性物質という食品添加物や農薬といったものを思い浮かべるかも知れませんが、実は、普段、何気なく口にしている食品にも発がん性物質が含まれていることがあります。本授業では、それらについて解説します。	講義	プロジェクタ、スクリーン
		110	大畑慎也	アンメットメディカルニーズを満たすための創薬研究	アンメットメディカルニーズ（UMN）とは、治療法の開発が遅れている疾患に対する治療法確立の需要である。本授業では、希少な小児脳腫瘍を例としてUMNを満たすための創薬研究について解説する。	講義	プロジェクタ、スクリーン
		111	伊従 光洋	世界3大感染症であるマラリアとワクチン開発	「マラリア」は寄生虫によって引き起こされる感染症の1つです。世界の多くの国では感染者が多く、まだまだ悩まされています。どのように対策したら良いのでしょうか？講義を通して一緒に考えてみましょう。	講義	プロジェクタ、スクリーン

学科	No	教員名	授業テーマ	授業概要	授業形式	高校でご用意 いただきたいもの
薬	112	熊野恵城	がんに対する分子標的療法	がんの治療は抗がん剤を用いた化学療法から、がん細胞の増殖等に関わる分子を標的にした分子標的療法へと移行してきている。そのような分子標的薬の創薬と今後の展望について紹介する。	講義	プロジェクタ, スクリーン
	113	武藤 裕	分子のかたちと薬の働き(1)	サリドマイドは催奇性のある薬物として知られていますが、血液のがんに対する抗がん剤としても利用されています。その作用、副作用のメカニズムについて分子の構造をもとに説明していきます。	講義	プロジェクタ, スクリーン
	114	武藤 裕	分子のかたちと薬の働き(2)	近年、がん治療でよく名前を聞くようになった分子標的薬をとりあげて、標的分子の“かたち”の情報をもとにどのようにして薬がつくられてきたのかについて説明をしていきたいと思ひます。	講義	プロジェクタ, スクリーン
	115	六田仁洋	くすりを化学の面から考える ～薬学と有機化学の接点～	有機化学は薬の性質や効き方を分子レベルで理解するとともに、創薬研究の基盤となる学問です。なぜ薬学部で有機化学を学ぶのか、大学の有機化学はどのような講義・研究をしているのか、その一部を紹介しします。	講義	プロジェクタ, スクリーン
看護	116	高畑 和恵	大学で看護学を学ぶこと ～基礎看護学の授業の一例～	看護学とはどのような学問か、看護学では何をどのように学んでいくのかについて、入学後初めて看護学に触れる基礎看護学の授業である演習を中心に紹介しします。	講義	プロジェクター、PC、スクリーン